

# チーム えがお

【学校教育目標：たくましく生きる児童の育成】

・やさしい子 ・考える子 ・元気な子 ・やりぬく子



発行者：校長 岡田 達也

～ 園が お かが や き 団が ば る 学 校 困 う え ん だ ん 「チ-ム北川」～

## 「友愛セール」 ありがとうございます!

6月28日(日)、たくさんの方にご協力いただき、「友愛セール」を開催しました。PTAの役員の方には前日までの準備、そして当日の運営、片付けと、お忙しい中ご協力いただきました。誠にありがとうございました。



当日は、10時から11時という時間が限られていたため、開場前からお並びいただいた保護者や地域の方も多数いらっしゃいました。おかげで、たくさんの方々にお越しいただき、大盛況の内に終わることができました。これも、皆様のおかげだと心より感謝しております。ありがとうございました。



この度の友愛セールの収益につきましては、子どもたちの教育活動の充実のために、有効かつ適切に活用させていただきます。今後とも、ご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## 「友達ベリーグッド」 お互いを認め合うことの大切さを!



29日(月)のさわやかタイムは、2回目の「友達ベリーグッド」の時間でした。いつものように、1年生から6年生までの代表が、友達のよさやがんばっているところを紹介してくれました。そのあとは、みんなで楽しく「ソラシドマーチ」を合奏しました。

小学校段階では、学年関係なく、友達のよさやがんばりを互いに認め合う活動や場はとても大切です。その理由は、友達のがんばりを見つけようとする心、具体的ながんばりに気づく目と心、そしてそれをみんなで認め合う心、を養っていく必要があるからです。子どもたちは友達から認められていると感じることで、自尊感情(=自分には価値があり尊敬されるべき人であると思う心)を高めていきます。言い換えると、自分への自信をもてるようになります。自分に自信をもつことができると、心にゆとりが生まれ、友達のよさやがんばりに目が向くようになっていきます。

しかし、場を設けるだけで友達関係が改善され、学校生活が楽しくなるかというと、そう簡単ではありません。特に、友達のよさやがんばりを認めることのできる「素直さ」を、子どもたちの内面に育てていかなければなりません。素直な心があると、教師や友達、保護者など、周りの人々からの言葉を素直に聞き、助言を受け入れ、理解しようとする心、そして、素直に頑張ろうとすることで心の強さも養われます。本校のように、学年1クラスで集団関係が固定化しやすい学校では、特に大切なことです。素直な心は、いろいろなことを吸収していきます。これからも、学校と家庭が協力して、子どもたちの心を育てていきたいと思ひます。